



高校生まちづくり会議 『HACHI』

平成27年1月30日(金)

全国公民館セミナー「事例発表会」で活動を紹介！

(会場：国立オリンピックセンター)



大館市生涯学習課



「全国公民館セミナー」 事例発表会



気仙沼市での交流事業



『HACHI』は、大館市内の高校5校から集まった高校生が市の行政と連携し、ネットワーカーとしてまちづくりに主体的に関わる取組で、今年度が2年目となる。

「高校生が発信する大館まちづくり市民フォーラム～誰もが幸せに生きるまち・大館と人について考える～」の開催、気仙沼元気プロジェクトやおもり若者プロジェクトとの交流、各種フェスティバルやサミットへの参加協力を通して様々な社会体験をしながら、まちの活性化に貢献している。また「駅-ONE～あおぞらいち～」ではツイッターを活用するなど、若者ならではの機動力も発揮している。(現在登録者数:46名)

その活動は文部科学省からも高く評価され、今年1月には「全国公民館セミナー」において事例発表の機会を得た。セミナーには市職員2名が同行し、リーダーを務める大館高校の2名がプレゼンで活動を紹介した。「高校生が何で自らやるの?」という発表後の質問に対し「仲間と共に地域のことを考え、地域の人と一緒に行動することに楽しさを覚えたから」と答える場面もあった。終了後、今回の貴重な体験ができたことに「とても感動した」と話してくれた。



『HACHI』が平成26年度に実施した主な活動

※ 5月からの企画会議や準備作業日は省略

7月	大館市子育てフェスティバル	参加と協力	大館樹海ドーム
8月	大館巡り	駅周辺の商店街の歴史を学ぶ	駅前・朝市・映画館
9月	大館市生涯学習フェスティバル	ブース「HACHIの喫茶店」での活動PR	中央公民館
	大館市ボランティアフェスティバル	活動PRの掲示	老人福祉総合エリア
10月	気仙沼市での交流ボランティア	大館市生涯学習課「ふるさと元気づくりパワーアップ事業」との共催で児童や保護者と交流	気仙沼市本吉公民館
11月	駅-ONE ～あおぞらいち～	事務局と協力し朝市の盛り上げに協力 (来場者にバルーンアートを作る)	駅前朝市通り
12月	大館市子どもサミット	活動報告とサミットでのアドバイス参加	大館市比内総合支所
1月	全国公民館セミナー	セミナー事例発表会での活動紹介	国立オリンピックセンター
2月	活動視察	あおもり若者プロジェクト「クリエイト」の活動視察と意見交換	青森市
年間	HACHI 新聞作り	HACHIの活動報告、PR用チラシ作成	中央公民館
年間	地元食材を活用し新メニュー開発 B級グルメの考案	大正堂(地元和菓子店)と協力した新しいスイーツの開発	中央公民館

ミラクルうんコロボ

★読み聞かせ会★

平成26年12月20日(土)

北秋田市中央公民館

生涯学習フェスタ & 家庭教育支援事業 ～みんな 地域で 大きく なあれ！～

第1部は、数々の独創的な物語を創作している絵本作家の 佐藤伸氏 が担当。テンポの速い語りに、絵本作りの裏話やだじゃれなどを交えた楽しい読み聞かせを披露した。続く第2部では、各地で読み聞かせライブを開催している 高橋寛光氏 が会場の子どもたちを巻き込み、ギターを片手に、弾き語り調の読み聞かせを披露してくれた。

市生涯学習フェスタ2日目のこの催しには、送迎バスを運行したこともあり、小さな子どもから大人まで百人以上が集まり、絵本のいろいろな楽しみ方を体験していた。また、二人をよく知る関係者にとっては、夢の共演が実現した時間となった。



参加者と一体になり、絵本の魅力をPR

絵本作家 サトシン さん

◎本名：佐藤 伸 氏

- ・新潟県出身の絵本作家
- ・親子のコミュニケーション遊び『おてて絵本』発案し、協会を立ち上げて普及活動を展開している。
- ・作品：「うんこ！」「とこやにいったライオン」「わたしはあかねこ」「おかあさんだもの」ほか多数
- ・歌と読み聞かせでパワフルな活動を展開



パパコロボ みっつ さん

◎本名：高橋 寛光 氏

- ・大仙市企画部男女共同参画交流推進課勤務
- ・NPO法人「ファザーリング・ジャパン」会員
- ・H25全日本育麺メニューコンテスト全国一「ほっこりラーメン～とろっ☆すりっ☆ねばっ～」
- ・パパ絵本チーム「パパコロボ」会長
- ・絵本の読み聞かせライブを各地で開催



社会教育関係職員 学校訪問から（北管内）

【訪問期間：6月11日～12月19日】



大館東中学校区での合同研修会（社教訪問）

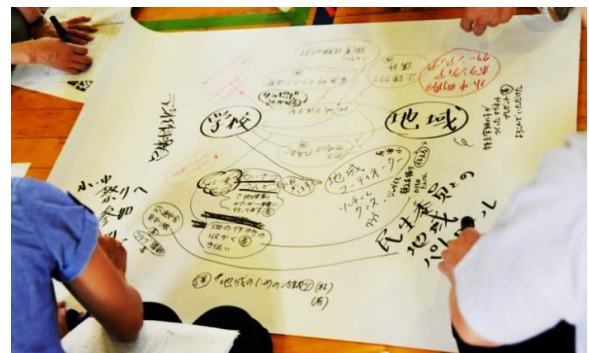
北教育事務所では『学校を地域の核とした生涯学習社会』の構築をめざし、社会教育の推進施策を説明する学校訪問を実施してきた。今年度は管理職や担当職員だけでなく、全職員参加型の研修会形式の訪問を実施する学校が増えた。

〔訪問校53校中、半数の27校〕

長期休業期間中や放課後に時間を設定し、社会教育関係者のアドバイスの下、地域と学校の関係を見つめ直し、新たな社会資源活用の企画・提言をするなど、学校と地域間の連携を前進させる研修が展開された。

研修会で特に成果を上げている活動は、推進施策に関連した県北地区の数多くの実践例の紹介及びその後の「ワールドカフェ方式」と呼ばれるメンバーを入れ替えてのグループ協議である。協議は、地域の特色や実情に沿ってテーマを設定して行われ、地域の核としての役割について認識を深める場となった。

次年度からは、この形式による訪問を更に広めていくことから、市町村の社会教育委員や奨励員の同行にもこれまで以上に協力をお願いしていく予定である。



それぞれの意見を模造紙に図式化して集約